

うっかり超銀河ケータイ

(第2回)



如月かずさ 藤田ひおこ・絵

〈前号のあらすじ〉

五年生のノドカは、カミナリに遭遇する。カミナリが落ちた拍子に、ノドカの古いケータイにやってきたのは、惑星トロヴァオンにあるグローム皇国の王子ライネ。家出したライネの話す日本語は、時代劇の渡世人の言葉。家出の目的は、地球に追放された師匠を連れ戻す為にはるばる日本に来たと言う。

「いや、絶対無理だってば。こんなことしたって入るわけないよ」

『つべこべ言わずとにかくやってみろって。おれアもう腹ペコで倒れちまいそうなんだからよ』

ケータイ画面の向こう側で、ライネがぎゃあぎゃあとおぼくをせかした。しかたないなあのため息をついて、ぼくは